

セマダラコガネ

親子森林教室「森しり隊」の参加者の石川さんのフィールド観察会についていった駐車場広場で、草の葉に止まっている小さなコガネムシに出会いました。これまでに幾度か出会っていて珍しくもないのですが、澄川森林の住虫とあっては無視するわけにもいきません。デジカメで画像にしておくことにしました。撮影日時は2017年7月23日10時42分でした。

帰宅して画像を拡大してみますと触角の先が三又になっていて、ユニークなのです。命名どおりのまだら模様が左右対称でおしゃれなのです。体形は卵型の典型的なコガネムシ型。体長8~13mm。分布はほぼ琉球列島を除く日本全国。出現は7~8月。Wikipediaによりますと、日本固有種とされているようですが、異論もあるようです。模様や地色に個体差が大きいようです。黒化型ともなればほとんど真っ黒なのです。ホモサピエンスでも色違いが白から黒までありますので、不思議ではありませんが、ネットの無い時代、図鑑のみに頼っての同定作業はご苦労だったと思う次第であります。

食性は植物だったら広葉樹の葉から農作物の葉や根、草や花まで何でもござれの雑食のような記事ですが、そんな中で植物の種類で目立つのはゴルフ場の芝です。幼虫が大量発生して芝の根を食害し、枯らしてしまうことがあるようです。ゴルファーの方々、芝が枯れていたらこいつの仕業と思ってください。広大なゴルフ場に殺虫農薬を散布することは出来ませんので、苦心の駆除方法が、みだけをフェロモンで誘引して捕獲、

殺害するニューウインズパックというトラップが販売されています。作物の害虫としてこの虫ばかりが悪ではなく、マメコガネをはじめ小型のコガネムシたちは他にもいろいろおりまして、それらも植物食ですから、農業害虫として嫌われているのであります。

昆虫少年時代の標本箱には入っていませんでしたが、この際、あらためて面白い虫だと認識したことでありました。

